

ひとづくり 第12号

弓削商船高等専門学校 情報工学科 広報誌 2017(平成 29)年3月発行



特報！！ プロコンチームシリコンバレーへ

「NICT 起業家甲子園」にプロコンから挑戦権を得た Knee's Needs チームが、「シリコンバレー起業家育成プログラム」に参加することになりました。グローバルマインドを身につける機会として、2月20日～25日米国西海岸（シリコンバレー）において、現地 ICT ベンチャーとの交流が行われます。

ユーザの気持ちがわかるものづくり ～プロコンへの取組～

平成 28 年 10 月、第 27 回高専プログラミングコンテストが三重県伊勢市で開催されました。本校から 4 チームが参加、優秀な成績を収めたことは号外でもお伝えした通りです。

プロコンでは世の中に役立つ実用的なシステム開発を目標としてアイデアを考えます。流行りの技術や周辺機器でなく、誰のためにどのように役立つのか、システムを利用するユーザが主役であることを強く意識させます。アイデア出しでは社会問題などさまざまな知識が必要とされ、多くの時間と労力がかかります。実際の現場に出向いて利用者の意見を伺い、問題点や要望を反映することも大切です。

またシステムの良さをわかりやすく伝えるため、資料作り、デモンストレーション、プレゼンテーションも重要です。審査委員は何を聞きたいのか、どうすればわかってもらえるか、常に相手の立場に立って改善を行います。プロコンの成績はこれらの努力が実を結んだものと言えるでしょう。その経験の裏付けにより、プロコン参加学生は実践的技術者として高く評価されるのです。プロコン後も彼らの活躍は続いています。

ベンチャー系コンテスト・学会発表への参加

高専プロコンに応募した作品は、完成度も高く、卒業研究や実用化を目指して、取り組みが続けられます。3件のベンチャー系コンテストにエントリー、2つの全国大会に参加します。3月の情報処理学会でも発表を行います。



ICT ビジネスモデル発見&発表会四国大会（11月19日松山）

今年3回目となる本大会は世界へ通用するビジネスモデル創出、地域産業の活性化を目的としています。本校からプロコン2作品がエントリーし、Knee's Needs が優勝しました。全国大会は、3月13日、14日東京で開催されます。



キャンパスベンチャーグランプリ四国大会（2月6日高松）

第14回となる同大会は学生を対象とした国内最大級の大会で、カルビンさん¹⁵、瀬尾さん^{生1}が書類審査を経て四国大会にのぞみ、いずれも優秀賞を受賞しました。瀬尾さんは3年連続の全国大会を目指しましたが、あと一步届きませんでした。



国土交通省の海上実験に参加(12月14日東京)

昨年度高専プロコン最優秀作品「smartAIS」の研究も継続されています。12月14日 国土交通省のスマートフォンを用いた小型船舶の安全航行に関する海上実験に専攻科生2名、教員1名が参加しました。富士通、日本無線などの企業と協力して、国のガイドライン作りに協力しています。



BCN IT ジュニア賞を受賞(1月26日東京)

1月26日東京にて、小野さん¹²、黒飛さん¹²、市川さん¹¹がBCN IT ジュニア賞を受賞しました。同賞は高専プロコンにおいて文部科学大臣賞を受賞したチームに送られるものです。表彰式後の懇談会では記念品を受け取り、多くの企業の方からねぎらいの言葉をいただきました。

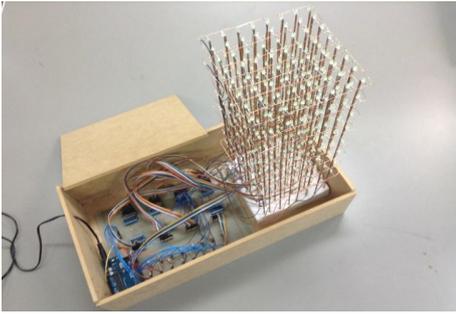
ETロボコン2016中四国地区大会 モデル審査上位2位独占の活躍



デベロッパー部門プライマリークラスにおいて、本校から出場した2チームがモデル審査上位2位を独占する好成績を収めました。また、走行競技の結果も含めた総合成績は3位と4位で、惜しくも全国大会出場を逃しました。モデル審査では、ロボットの制御プログラムの内容をUML（統一モデル言語）などで説明することが求められます。UMLを業務で使用している企業チームを抑えての受賞は、大きな励みになります。

創造性実験の作品発表会を開催

情報工学科 4 年生の情報工学実験において、創造性実験発表会を 1 月 27 日、2 月 10 日に開催しました。



本発表会では、2~4 人のグループに分かれ、学生の自由な発想で考案された作品について発表を行いました。作品づくりは、限られた時間と予算の中で、企画書の作成や部品の発注を含む作業をスケジュール管理をしながら進めていきます。本年度は、実用性やアイデアに優れた作品が多くみられました。参加した学生は、半年近くかけた作品のでき栄えを互いに評価し合い、充実した発表会となりました。

ICT 高専学生応援セミナーを開催



高等専門学校学生を対象とする ICT 高専学生応援セミナーの講師に株式会社 jig.jp 代表取締役福野泰介氏を招いて講演会を実施しています。セミナーのテーマは、「進学？就職？はじまるオープンデータ時代と起業という選択」です。自分の大切なものがネットに繋がったらどうなるか。学生たちの意見から起業するためのヒントを与えていただきました。

タイ国ナコンパノム大学で共同プロジェクトを実施



1 2 月 2 1 日～3 0 日の 1 0 日間、本科 4、5 年生 4 名が、タイ国・ナコンパノム大学を訪問し、共同プロジェクトを実施しました。

本校とナコンパノム大学とは、国際交流協定を結んでおり、今回が 3 回目の訪問になります。プロジェクトでは、「スマホを用いた妊婦用マッサージ機の制御システム」、「スマホを用いた遠隔施錠確認システム」をテーマにタイ人学生と共同で開発に取り組みました。当初は、言葉

の壁で、思うように作業が進みませんでした。終盤になるとイラストやジェスチャー等を交え、お互いにコミュニケーションをとる工夫をし、何とか無事プロジェクトを完遂することができました。プロジェクト発表会には、開発した機器のデモンストレーションと英語によるプレゼンテーションを行い、学部長、教員からは「是非、実用化して欲しい」旨の提案をいただきました。

滞在中、大学が「スポーツ週間」で、本校の学生もバレーボール競技に飛び入り参加するなど活発な文化交流となりました。最終日には、共同プロジェクトの期間中、お世話になったタイ人学生とハグするなど、別れを惜しむ場面もありました。

参加した学生からは「タイ人の穏やかな人間性に親しみを覚えた」、「タイ人の親切さに感動し、微笑みの国を実感できた」、「ことばの重要性を認識できた」、「将来海外で働いてみたい」等の感想が聞かれました。本インターンシップの一部は、学生支援機構の支援を受け、実施されました。



日本工学教育協会工学教育賞を受賞



徳田 誠准教授らが出版した専門書「制御工学 技術者のための、理論・設計から実践まで」(実教出版)が、第20回工学教育賞を受賞しました。工学教育賞は、工学教育ならびに技術者教育等に対する先導的、革新的な試みによって、その発展に多大の影響と貢献を与えた業績に対し授与されます。

現在、本書は、多くの高専や大学の機械、電気・電子、情報などの分野において、教科書として採用されています。また、昨年度、計測自動制御学会著述賞を受賞しており、これで工学分野の学会と教育分野の協会の両面から評価されたこととなります。

第4回情報工学科学生表彰を実施



情報工学科では、3年前から、1～4年生を対象に、顕著な成果をあげた学生を表彰する制度を設けて表彰しています。この賞は、

- ・成績や資格取得などの学業
- ・クラブ、学生会、ボランティア活動、異文化交流などの課外活動
- ・人格、授業や学校行事(特別活動、SHR、補習など)に取り組む姿勢

を総合的に評価し、他の学生の模範となる者に授与されます。今年度の受賞は、次の通りです。

最優秀学生賞

井上 香澄 (3年): 成績優秀/全国高専プログラミングコンテスト課題部門 優秀賞/ICT ビジネス研究会
キャンパス賞/ICT ビジネスモデル発見&発表会四国大会 総務省四国総合通信局長賞
/IT パスポート

優秀学生賞

岡 美波 (1年): 成績優秀/P 検 3 級

旗手 奈々子 (1年): 成績優秀/P 検 3 級/漢字検定準 2 級

住廣 莉奈 (2年): 成績優秀/P 検準 2 級/品質管理検定 3 級

伊藤 清里菜 (2年): 全国高専プログラミングコンテスト課題部門 優秀賞/P 検準 2 級/前期級長

中山 嶺 (3年): 成績優秀/品質管理検定 3 級/IT パスポート

ブーム (3年): 成績優秀(言葉のハンディを乗り越えよく努力) /TOEIC IP 965 点

村上 陸 (4年): 成績優秀



国立弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000 番地

<http://www.yuge.ac.jp/> 0897-77-4620

題字: 馬越 唯 (平成 23 年度情報工学科卒業生)

コンピュータ教育を通して、社会に役立つ「ひとづくり」を目指します。